

### 2型糖尿病患者の心血管イベント新規発症における脈圧のインパクト： KAMOGAWA-HBP study

The impact of pulse pressure on the development of cardiovascular events in patients with type 2 diabetes: KAMOGAWA-HBP study

竹上 茉耶

京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学

**【目的】** 糖尿病患者において、合併症の発症・進行予防のため、血压管理が非常に重要である。特に家庭血压は臓器障害との関連が強く、重要性が認識されている。今回、2型糖尿病患者における家庭血压の脈圧と心血管イベント発症との関係を検討した。

**【方法】** KAMOGAWA-HBP studyは前向きコホート研究である。対象は京都府立医科大学附属病院及び関連病院の糖尿病専門外来通院中の2型糖尿病患者1526名。対象者にメモリー機能付き自動血压計(HEM-7080IC、オムロンヘルスケア社)を貸与し、家庭血压を貸与日から連続14日間、朝(起床後1時間以内、朝食前、2分間以上安静後、座位)および眠前に各々3回測定した。朝、眠前それぞれ3回の平均値の14日間における平均値を家庭血压値とした。主要評価項目は新規心血管イベント発症とした。解析対象は心血管イベントの既往者を除いた1082名である。収縮期血压と拡張期血压の差である脈圧と心血管イベント新規発症との関連をCox比例ハザード分析で検討した。

**【結果】** 平均6.63年間の追跡期間中、119名(11.0%)に心血管イベントの新規発症を認めた。多変量Cox比例ハザード分析において、朝の脈圧が10mmHg上昇するごとの心血管イベント新規発症に対するHR(95%CI)は1.29(1.14-1.45)であった。脈圧のカットオフ値(59.2mmHg)で2値化したところ、脈圧低値群に対する高値群のHR(95%CI)は2.07(1.80-4.05)であった。

**【結論】** 2型糖尿病患者において、家庭血压の脈圧増大は心血管イベント発症に寄与しうる。